

2023年度修了生の皆様 修了おめでとうございます

<2023年度専任教員退任挨拶>



「早稲田の杜で11年間を」

松本 敏史 教授

学生時代から京都で40年を過ごした。その後、縁があつて会計研究科の教員に加えていただいたのが59歳の春である。以来、京都と東京を往復しているうちに70歳を迎えたため、今年度末をもって定年退職する。その11年を振りかえることで、皆様への退職のご挨拶とさせていただきます。

そもそも還暦直前になぜ移籍か、何度も聞かれたが理由は二つある。一つは天下の早稲田大学で東京の空気を吸ってみたかったため。いま一つは京都の生活がマンネリ化していたためである。

ではこの選択は正しかったか。答えはYesである。「仕事日は東京、週末は京都」という生活をすると、街や大学の活動レベルの違いを肌で感じることになる。また、東京（早稲田大学）にいと会社経営者、政治家、官僚等、いわゆる権力保持者と遭遇する機会が多い。そして教師として得た最大の成果が高い能力をもった学生諸君との出会いである。会計研では「財務会計トピックス」「国際交流会計ワークショップ」等、アクティブラーニング型の授業を担当したが、受講生の向学心の強さ、高い分析能力と論理構成力、そして流暢な英会話能力には何度も感心させられた。

しかしすべてが順調だったわけではない。今にして思えば、移籍の際に自分の耐用年数を見誤っていた。東京と京都は新幹線で2時間15分だが、高サイクルの振動の中で坐ったままの状態が腰に良いわけがない。また東京の生活は単身赴任の状態であり、食事も不規則になる。それでも当初の6年間は正常に活動していたが66歳を越えたところで脊柱管狭窄症を発症した。そのためおよそ半年の間、激痛の中を杖をつきながら登校していたが、そこへ想定外のコロナ禍である。2年にわたる引き籠りで完全な運動不足に陥った。そして極めつけが声帯麻痺である。我々教師にとって発声不良は致命的である。そしてガラガラ声の授業を聴かされる受講生が最大の被害者になる。この2年間、その状況に耐えてくれた受講生諸君には自己管理能力の甘さを深くお詫びしたい。一方、「のど飴」や市販薬の差し入れ、そして「ちゃんと聞こえますよ」のひとつには本当に励まされた。

1月24日に最終講義を終えることができた。この間のスタッフのサポートと受講生諸君の協力に対して改めて「ありがとうございました」と申し上げたい。

そして最後になりますが、修了生諸君の未来が輝かしいものであることを心から祈っています。

松本先生ありがとうございました

月刊 会計研

第65号
2024/3/25

発行: 早稲田大学大学院会計研究科

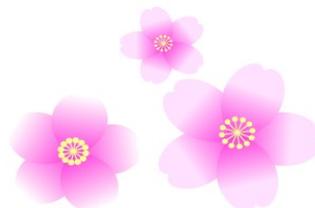
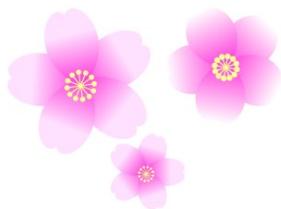
発行人: 清水 孝

〒169-8050 東京都新宿区西早稲田1-6-1

TEL 03-3208-8540

E-mail accounting@list.waseda.jp

URL <https://www.waseda.jp/fcom/gsa/>



松本先生ありがとうございました

2023年度修了生の皆様 修了おめでとうございます

<2023年度専任教員退任挨拶>



「次に会える日を楽しみに」

山下 和博 教授

今年度修了する多くの学生の皆さんが会計研究科に入学した2022年4月1日に着任し、租税法関係の講義やワークショップを担当してきましたが、2024年3月31日で退職し、出身母体である国税庁に戻ることになりました。あっという間の2年間であり、後ろ髪を引かれる思いです。

教職としての経験がほとんどない中で、専門職大学院であり、会計のプロを目指す皆さんに何を伝え、何を身に付けてもらうかを常に考え、どう教えれば伝わるのか、最後まで手探りの毎日でした。しかし、自分自身の責務の重さや緊張感の中で充実した

日々を送らせていただきました。

これまで租税法に関する実務経験や立法業務に携わったことはありましたが、会計研究科で授業をするにあたって、改めて各税法を一から勉強させていただきました。その意味では、自分自身にとっても多くを学んだ2年間でした。

早稲田大学と言えば、おそらく日本人であれば誰でも知っている大学です。会計研究科は、その早稲田大学の専門職大学院と言われる大学院です。専門職大学院は、米国ではプロフェッショナル・スクールと言われ、いわゆるその道のプロを育てるための大学院です。皆さんはそのプロフェッショナル・スクールを修了したので、この会計研究科から一歩外に出た瞬間、会計のプロとして周囲の期待に応えなければなりません。「広く世界に活動す可き人格を養成」することを謳う早稲田大学の卒業生であればこそ、日本だけでなく世界に貢献するプロとして活躍することを期待されています。そのためには、決して奢ることなく、常に謙虚に、現状に満足することなく、常に問題意識を持ち、常に成長し続けるプロフェッショナルになって下さい。

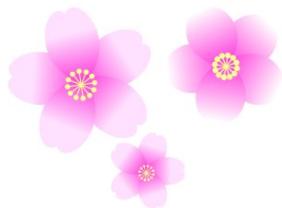
次に会うときはお互いにプロ同士として会える日を楽しみしています。その日の為に私も今以上に切磋琢磨しなければと思っています。2年間、ありがとうございました。皆さんの今後の活躍を期待しています。

山下先生ありがとうございました

月刊 会計研

第65号
2024/3/25

発行: 早稲田大学大学院会計研究科
発行人: 清水 孝
〒169-8050 東京都新宿区西早稲田1-6-1
TEL 03-3208-8540
E-mail accounting@list.waseda.jp
URL <https://www.waseda.jp/fcom/gsa/>



山下先生ありがとうございました